



EU規制RoHS(2.0)指令 10物質の分析

改正RoHS指令(RoHS2.0)で追加となったフタル酸エステル類4物質の分析も承っております。

規制物質のスクリーニング+精密分析

RoHS規制では規制物質の見直しが行なわれ、一部のカテゴリーを除き2019年7月22日より新たにフタル酸エステル類4物質が追加されます。

RoHS規制物質

- 鉛(Pb)
- 水銀(Hg)、
- カドミウム(Cd)
- 6価クロム(Cr⁶⁺)
- 臭素(Br)系難燃剤
(PBB ポリ臭素化ビフェニル)
(PBDE ポリ臭素化ジフェニルエーテル)



追加4物質(改正RoHS指令) フタル酸エステル類4物質

- DEHP フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
- BBP フタル酸ブチルベンジル
- DBP フタル酸ジブチル
- DIBP フタル酸ジイソブチル

試験の流れ

Step1 エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)によるスクリーニング(対象:Pb、Hg、Cd、Cr^{※1}、Br^{※2})
燃焼イオンクロマトグラフによるスクリーニング(対象:Br^{※2})

※1 Cr⁶⁺は他の形態も含めた全Crを確認対象とします。
 ※2 PBB、PBDEはその構造中に臭素(Br)を含むため、全Brを確認対象とします。

最大許容濃度を超過して検出?

No

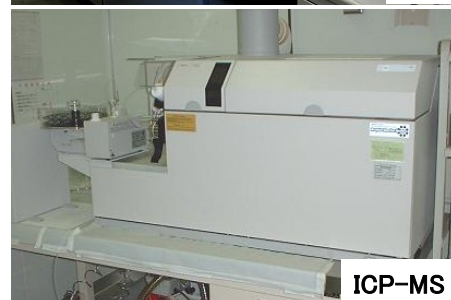
スクリーニング結果の報告

Yes

Step2 規制物質についての精密分析



EDX



ICP-MS



GC-MS

前処理方法の例

- 酸分解法
- 溶媒抽出法

※ご指定の前処理条件や分析規格(IEC62321等)がある場合には事前にご相談ください。
 2017年発行のフタル酸エステル類分析法の国際規格IEC62321-8にも対応済みです。

分析手法の例

- Pb、Cd : ICP質量分析法(ICP-MS)、ICP発光分光分析法(ICP-AES)
- Hg : 還元気化原子吸光分析法(AAS)
- Cr⁶⁺ : ジフェニルカルバジド吸光度法
- 臭素系難燃剤、フタル酸エステル類 : ガスクロマトグラフ質量分析法(GC-MS)

対象成分	Pb	Cd	Hg	Cr ⁶⁺	臭素系難燃剤	フタル酸エステル類
最大許容濃度(ppm)	1000	100	1000	1000	1000	1000
定量下限値(ppm)	1	1	1	1	10	100

※定量下限値は試料マトリクス等の影響により変更とさせていただきます。

**RoHS分析は
ぜひ当社へお任せください!**



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 - 2021 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。